

平成30年産水稻の生育状況について（7月2日現在）

1 生育概況及び今後の管理

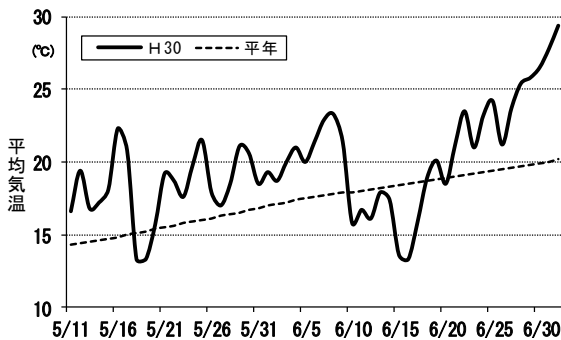
- 6月下旬の気象は、平均気温が平年よりかなり高く、日照時間も平年よりかなり多く推移した。水稻の生育は概ね順調であり、葉数（平年差+0.2枚）からみると平年に比べて1日程度進んでいる。
- 県全体の水稻の生育は、草丈が50.3cm（平年比101%）、1㎡当たり茎数が565本（平年比101%）、葉色はGM値*が42.4（平年差+1.0）となっている。
- 間もなく幼穂形成期*（県平均の平年は7月8日）を迎えることから、生育ステージの把握や生育量・葉色に応じた適正な肥培管理を実施するよう指導している。
- 今後、葉いもちに感染しやすい気象条件になることから、水田をこまめに観察し、葉いもちの発生が確認された場合には適切な防除を行うよう指導している。
- 水田周辺の斑点米カメムシ類の密度を低くするため、水田周辺の牧草地等の草刈りは7月20日頃までに、水田畦畔の草刈りは水稻の出穂10日前（平年：7月25日頃）までに終わるよう指導している。

*GM値：葉に含まれている葉緑素量の測定値で、栄養状態を把握するもの。

*幼穂形成期（ようすいけいせいき）：「幼い穂」が稲の茎の中でつぐられ、1mm以上の長さになった時期で、出穂（しゅつすい：穂が出ること）の25日前頃からである（例えば、幼穂形成期が7月10日とすると、出穂日は8月4日頃と予想できる）。

2 具体的データ

(1) 平均気温の推移（仙台アメダス）



(2) 旬別の気象データ（仙台アメダス）

	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	平年差	平年比	平年差	平年比	平年差	平年比
5月	17.0	2.0	102.5	93%	183.6	99%
6月上旬	20.4	2.8	12.5	38%	73.6	131%
中旬	16.8	▲1.7	70.0	150%	26.0	58%
下旬	23.6	4.3	18.0	27%	73.6	220%
6月	20.3	1.8	100.5	69%	173.2	129%

(3) 生育調査結果

a. 県全体

県全体	草丈			茎数			葉数			葉色		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/㎡)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)	(GM値)	(GM値)	(GM値)
	50.3	123	101	565	101	101	10.0	0.5	0.2	42.4	▲0.9	1.0

b. 地域区分別

地域区分別	草丈			茎数			葉数			葉色		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/㎡)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)	(GM値)	(GM値)	(GM値)
北部平坦	49.6	122	100	584	99	100	9.9	0.5	0.2	42.7	▲1.3	1.1
南部平坦	54.7	115	97	587	100	108	11.1	0.9	0.8	39.1	▲4.5	▲2.4
仙台湾沿岸	50.6	129	105	534	104	106	10.1	0.6	0.2	42.7	1.5	2.1
西部丘陵	51.7	128	105	555	116	104	10.0	0.3	▲0.2	43.3	0.1	1.3
三陸沿岸	45.8	131	105	518	94	91	9.5	0.9	0.0	38.4	▲2.2	▲2.0

c. 品種別

品種別	草丈			茎数			葉数			葉色		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/㎡)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)	(GM値)	(GM値)	(GM値)
ひとめぼれ	50.6	125	101	554	104	102	10.1	0.6	0.2	42.7	▲0.9	1.0
ササニシキ	48.2	118	100	592	97	99	10.0	0.3	0.2	40.9	▲1.6	0.4
まなむすめ	52.3	125	106	587	91	106	9.3	0.3	0.2	42.8	1.1	1.8
だて正夢(参考)	53.9	118	—	475	99	—	9.9	0.6	—	42.9	▲2.4	—

※平年比・平年差：前5ヶ年（平成25年～29年）の平均値との比較。 ※だて正夢(本年・前年)は、県内10か所の平均。

※次回は7月10日現在の調査結果を7月11日発表予定です。